



長丘住んでよか隊



ネットワークの名前の由来

長丘住んでよか隊は、平成28年11月に立ち上がった長丘小学校校区内の事業所ネットワークです。長丘校区の事業者同士で名称を話し合い、住んでよか町作りの一役を担えたらとの思いで名づけました。

ネットワーク立ち上げの経緯

平成28年5月にいきいきセンターふくおか主催の地域ケア会議が開催され、長丘校区の事業所が集まり、事業所同士の連携について話をする機会を頂きました。地域との接点を模索する中で、南区社協から発信してあった『まちかどかかり付け施設』を長丘校区で活用することを取りかかりとして地域との接点を持とうと活動がスタートしました。

継続した活動を実施する上で、『地域と共に歩み、「住んでよか!」街づくりを目指します』という活動理念を掲げ、地域との連携を重ねています。

地域の方に知って頂くために、長丘住んでよか隊の名札を作成し、地域行事へ参加する際に名札をつけて参加しています。



活動内容

●出前講座の実施(平成29年3月～)

各事業所が地域に対して何ができるかを考え、各事業所が得意とする分野を出前講座という形で発信しています。地域のサロンや地域力カフェで実施。現在まで実績25件あり。

※講座の例:下肢筋力体操、講演(『歩行と脳』について)、落語、懐メロ演奏会

●広報誌の作成(平成29年～)

4ヶ月に一度作成し、長丘校区全域の回覧板にて回覧して頂いている。

また、長丘公民館や各町区の掲示板にも掲載して頂いている。現在までに、計5回発行。

●地域行事への参加・協力

青空カフェの運営協力と地域住民としての参加。平成29年、30年と2年連続で長丘緑地(竹公園)にて開催されたカフェへ、当日のテント張りや各種設営を事業所職員が応援参加。施設利用者がカフェへ参加。

●校区夏祭りの設営及び出店、校区運動会への参加

平成29年は校区夏祭りへ射的を出店、平成30年は校区の運動会へ競技参加。

●施設見学会の実施

長丘住んでよか隊所属の事業所4ヶ所をまとめて見学するツアーを地域住民対象に平成30年度に開催(9月、12月、3月予定)。昼食は(有料)、送迎付き。今後も継続予定。

●公民館での勉強会を定期開催

『地域包括ケアを考える会』という名称で、長丘公民館をお借りし、3～4ヶ月に一回のペースで、地域・介護・医療に関わる方にお声かけし、勉強会を開催。現在、4回開催実績あり。

Community Voice

地域からのメッセージ

長丘校区社会福祉協議会の会長を務めております吳藤でございます。

長丘住んでよか隊とは、毎月の定期会でお互い意見交換を実施しております。

今後も長丘校区版の地域包括ケアを作り上げる中で、長丘住んでよか隊との協力は欠かせないものとなります。

今後も宜しくお願いします。

長丘校区社会福祉協議会
会長 吳藤 龍一

